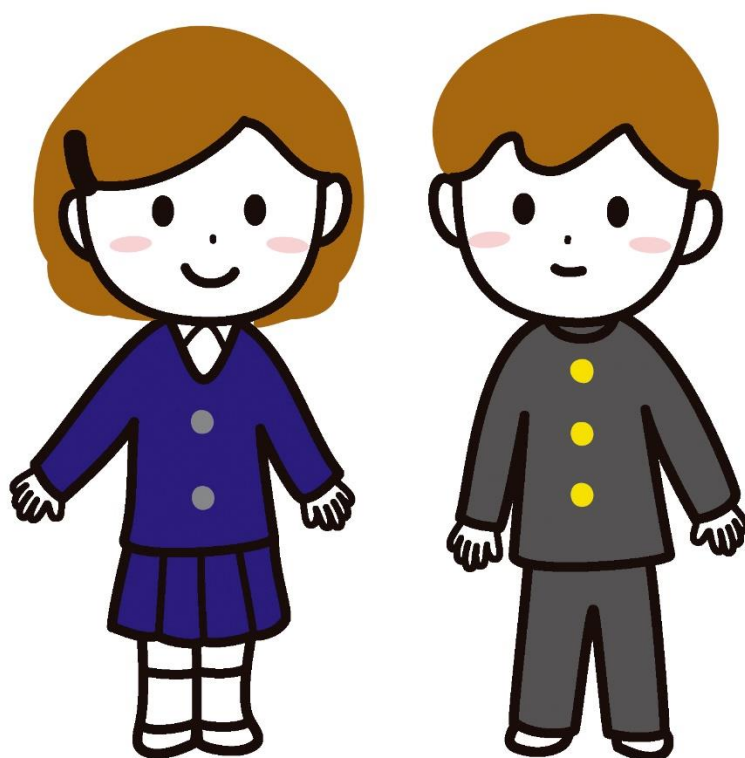


ヤングケアラーってなに？



こどもがこどもとしていられる街に。

● ● ○ みんなでヤングケアラーを支える社会を目指して ○ ● ●

いなべ市

ヤングケアラーとは

「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

ヤングケアラーは、家族のために様々なケアをしています。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている

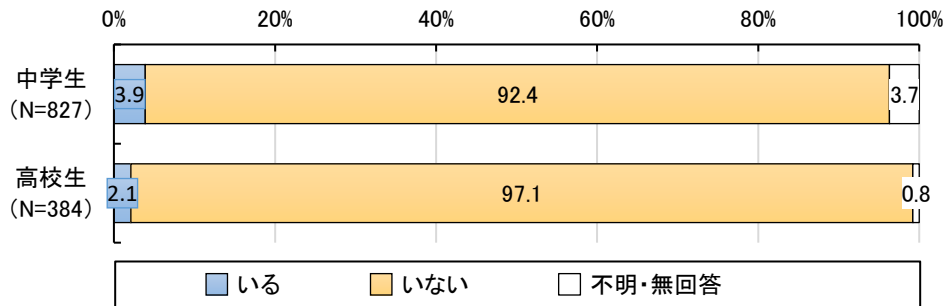


障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

いなべ市で実施した生活実態に関するアンケート調査（令和4年度）では、家族が病気や障がい、高齢、若い等の理由で、家族を見守り、お世話をしている生徒が中学性で 3.9%、高校生は 2.1%という結果でした。（令和2年度全国調査：中学2年生 5.7%、全日制高校生 4.1%）

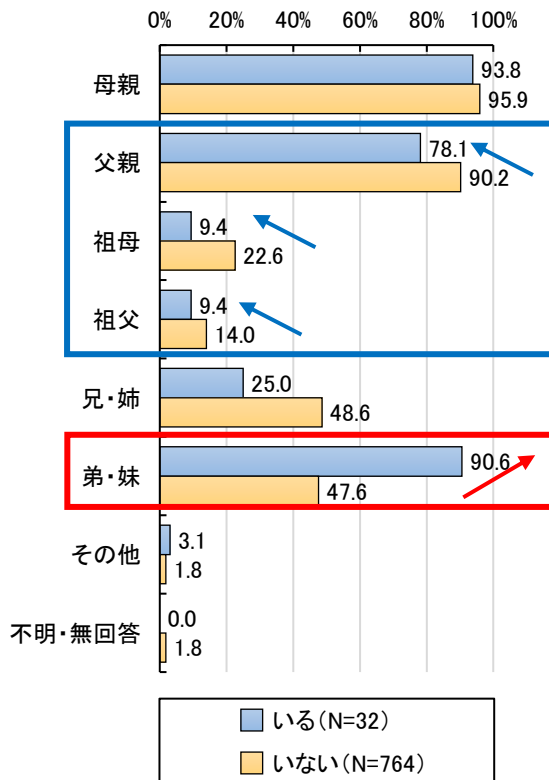
ヤングケアラーってどんな人？

■家族の中にあなたがお世話をしている人の有無

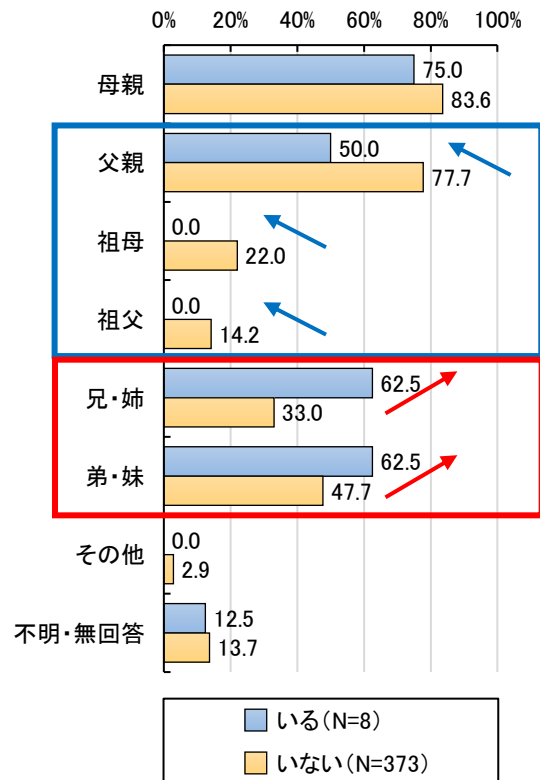


■現在一緒に住んでいる家族 × 家族の中にあなたがお世話をしている人の有無

◎中学生



◎高校生

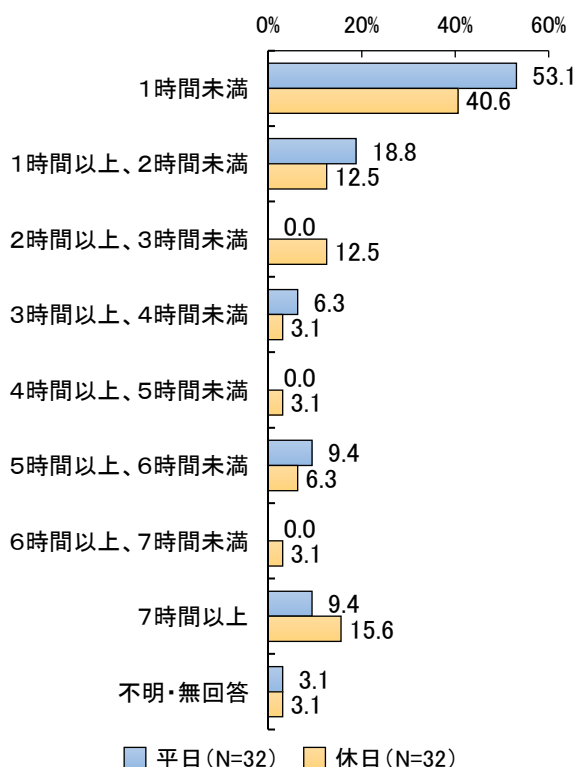


家族のお世話をしている人の傾向として、家族構成は中学生、高校生ともに、「父親」「祖父」「祖母」と同居している割合が低く、「弟・妹」の割合が高くなっています。

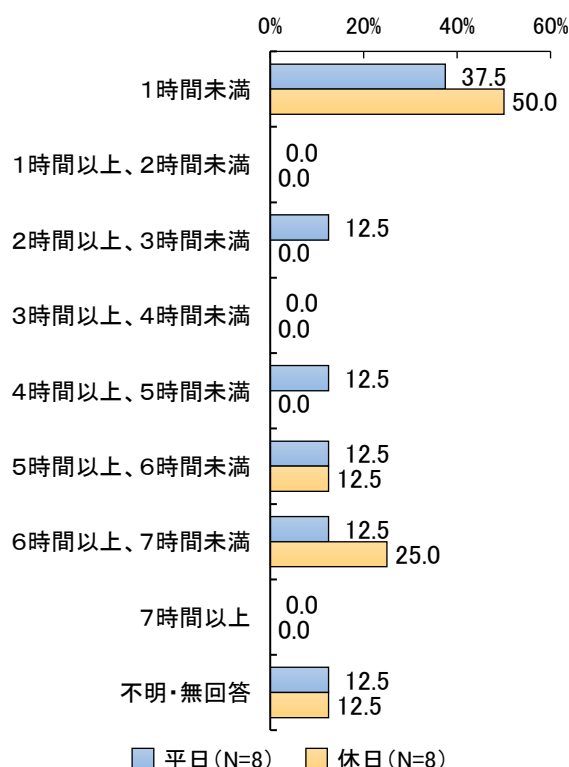
また、お世話を必要としている方は「きょうだい」の割合が高く、その状況は「若い」ためが高い割合となっています。

■お世話をしている時間

◎中学生



◎高校生



中学生	平日	休日
有効件数	31件	31件
合計時間	63.5時間	85.5時間
平均時間	2.05時間	2.76時間

高校生	平日	休日
有効件数	7件	7件
合計時間	20.5時間	20.5時間
平均時間	2.93時間	2.93時間

※1時間未満を0.5時間、1時間以上、2時間未満を1.5時間等として算出

学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援（上位項目抜粋）

必要としている支援			必要としている支援			必要としている支援		
平日3時間以上【中学生】	件数(件)	割合(%)	休日3時間以上【中学生】	件数(件)	割合(%)	3時間以上【高校生】	件数(件)	割合(%)
学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	3	37.5	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	4	40.0	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	2	66.7
自分のいまの状況について話を聞いてほしい	2	25.0	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	2	20.0	家族のお世話について相談にのってほしい	2	66.7
進路や就職など将来の相談にのってほしい	2	25.0	進路や就職など将来の相談にのってほしい	2	20.0	全体	3	100.0
全体	8	100.0	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	2	20.0			
			全体	10	100.0			

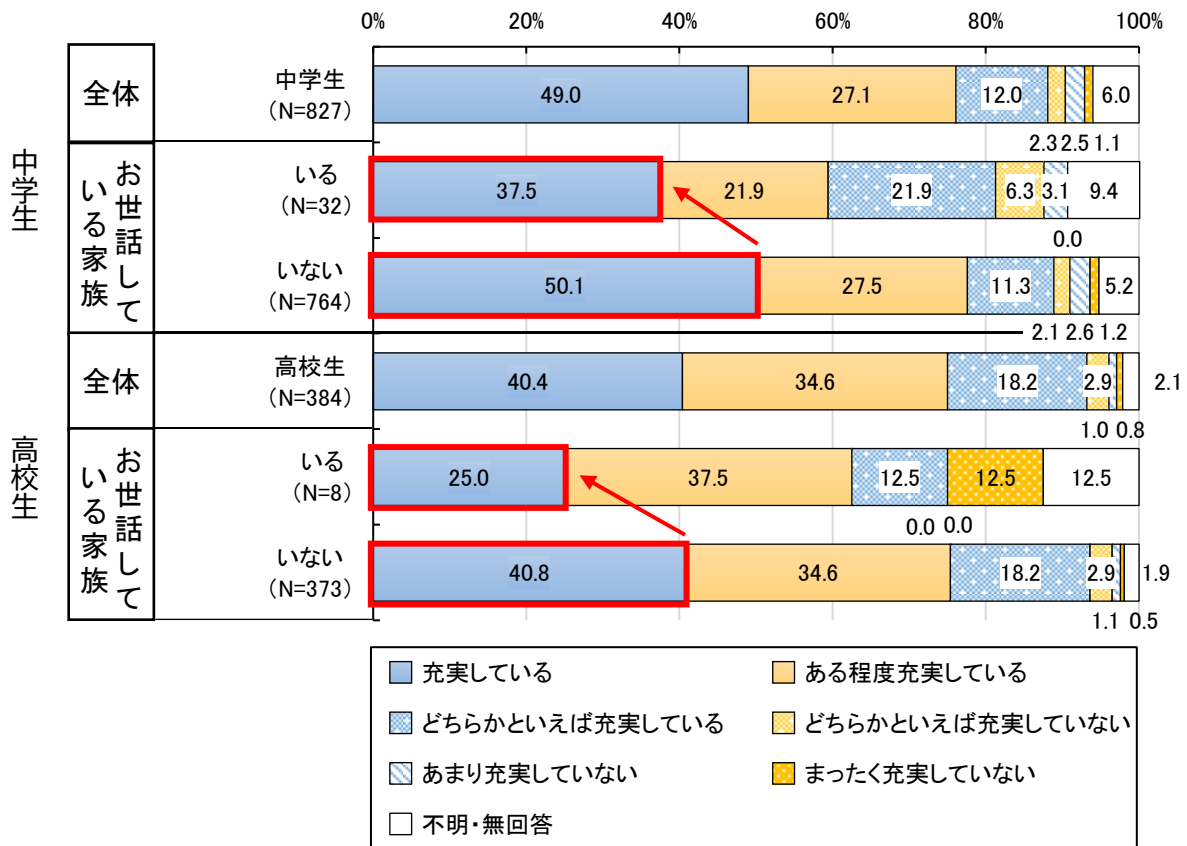
日ごろ家族をお世話をしている時間は、学校のある平日では中学生、高校生ともに、1時間未満が最多ですが、中学生は平均2.05時間、高校生は平均2.93時間お世話をしています。

学校のない休日になると、中学生は平均2.76時間、高校生は平均2.93時間となっています。

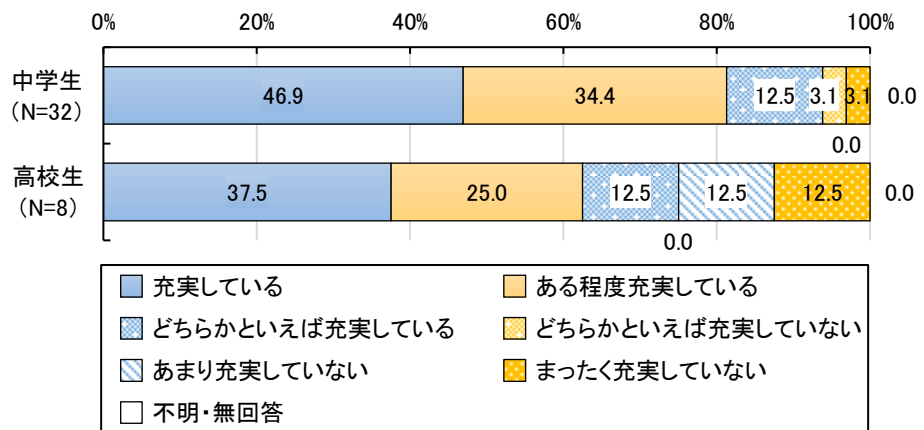
家族のお世話によって学業等にしわ寄せがみられ、学習へのサポートや進路相談等の支援を求める声や、今の状況について話を聞いてほしいという声がみられます。

日常生活の充実度

■最近の学校生活の充実度 × 家族の中にお世話をしている人の有無



■最近の家庭生活の充実度 (家族の中にお世話をしている人のみ)



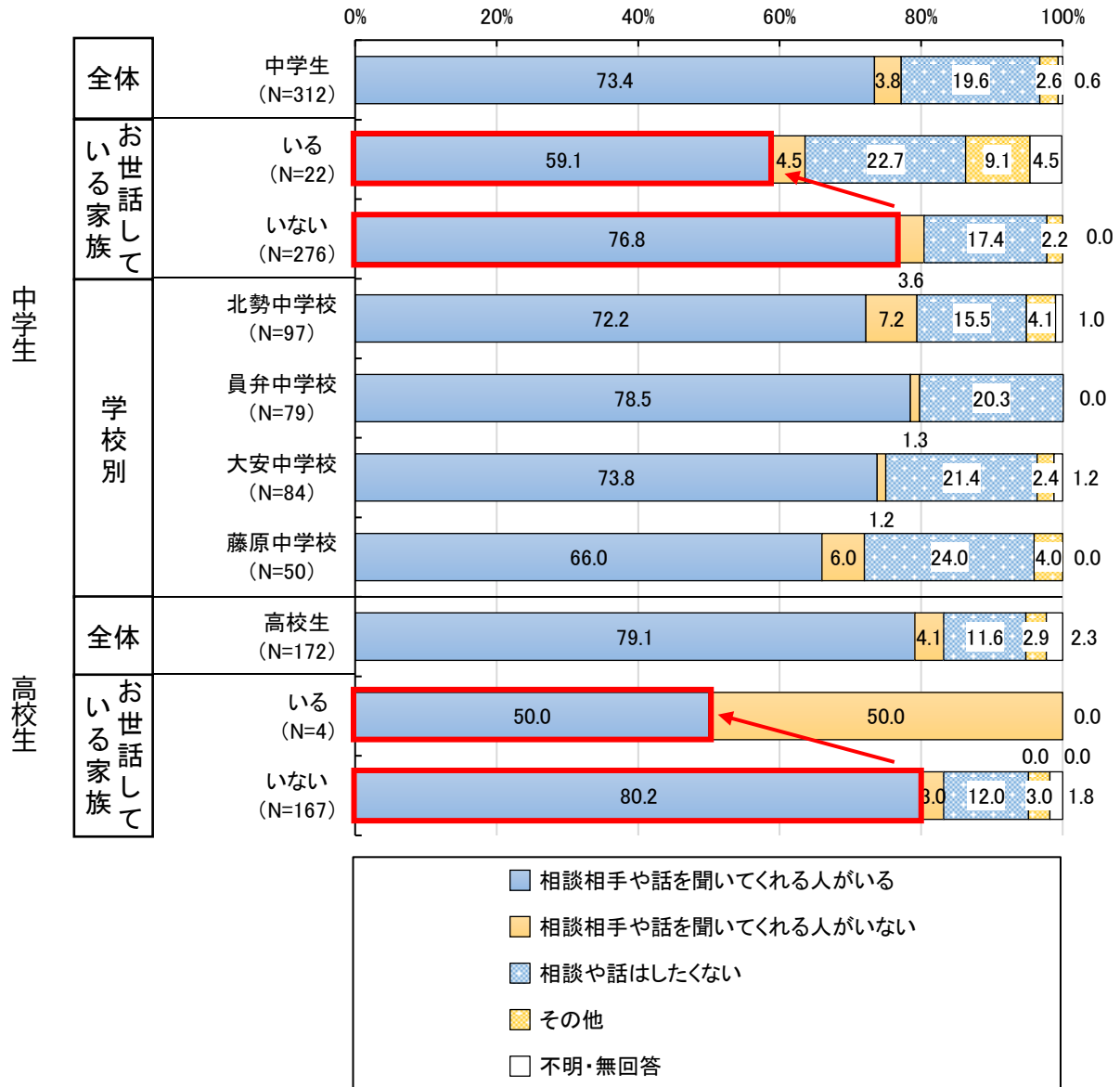
家族をお世話しているか否かで、中学生、高校生ともに学校生活の充実度は「充実している」の割合が低くなっています。

一方で、「充実している」「ある程度充実している」「どちらかといえば充実している」の合計をみると、7割以上が回答しています。

支援が必要な部分はあるものの、ヤングケアラーだからといって、必ずしも学校生活や家庭生活が充実していない、かわいそうな境遇ということではありません。

悩みごとや困っていることを聞いてくれる相談相手はいるの？

■相談にのってくれたり、話を聞いてくれる人×家族の中にお世話をしている人の有無・学校別



お世話をしている家族がいる生徒の相談相手の状況は、中学生、高校生ともに「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」の割合が比較的低くなっており、自分の現状や進路、学業のことを相談できないヤングケアラーがいます。

相談相手としては、「家族」「友人」が多くみられます。

学校ではスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等、生徒・学生の悩みを聞き、寄り添いながらサポートしてくれる専門家がいます。一人で抱えず、辛くなる前にサポートを求めてください。

学校では専門家による相談を受けることができます。



学校ではスクールソーシャルワーカー（SSW）やスクールカウンセラー（SC）を派遣・配置しています。

SSW や SC は、先生を通じて相談することができます。まずは先生に相談してみてください。

■スクールソーシャルワーカー

家庭と福祉等の関係機関をつなぎ、自分だけでは解決できない家庭環境の悩みの改善に向けて支援します。

例：家事の手伝い、きょうだいのお世話で自分の進路が決められない。など

■中学校のスクールソーシャルワーカーの派遣・配置状況

学校名	派遣・配置状況
北勢中学校	必要に応じ、順次派遣
員弁中学校	不定期に派遣
大安中学校	配置（月2回程度）
藤原中学校	配置（月3回程度）

学校用ヒアリングシートより（令和4年実施）

■スクールカウンセラー

カウンセリングを通じて、心のケアを行います。心のケアは、保護者や教職員にもアドバイスをしています。

例：家族のお世話などで、学校を休みがち、勉強がついていけなくて不安。など

■中学校のスクールカウンセラーの派遣・配置状況

学校名	派遣・配置状況
北勢中学校	年間54回程定期的に派遣
員弁中学校	配置（月3～4回程度）
大安中学校	配置（月3～4回程度）
藤原中学校	配置（月3～4回程度）

学校用ヒアリングシートより（令和4年実施）

学校では話しにくい場合も、相談することができます。

もし、学校では話しにくい、周囲に話をきいてくれる大人がいない、そんな時でもみなさんの悩みや不安をきいてくれる相談先があります。

<ヤングケアラーに関する相談窓口>

相談先【電話相談】	電話番号
いなべ市家庭児童相談室	0594-86-7822
北勢児童相談所	059-347-2030
児童相談所相談専用ダイヤル（24時間受付・年中無休）	0120-189-783
24時間子ども SOS ダイヤル（24時間受付・年中無休）	0120-0-78310
子どもの人権 110 番	0120-007-110
チャイルドライン	0120-99-7777
心配事相談（社会福祉協議会）	0594-41-2945
人権相談（いなべ市人権福祉課）	0594-86-7815
あいぽけっと（NPO 法人こどもぱれっと）	0594-72-8002
暮らしの保健室（NPO 法人スプリング）	090-1789-0904

相談先【メール相談】	メールアドレス
子どもと家族の相談窓口	kodomotokazoku@jamhsw.or.jp

家族を支えるヤングケアラーはカッコいい！
でも、一人で頑張らないで、誰かを頼った方がいい。

発行 いなべ市役所 健康こども部 児童福祉課（家庭児童相談室）
〒511-0498 いなべ市北勢町阿下喜 31 番地
電話：0594-86-7822 FAX：0594-86-7864